

2002年1月の東北地方の天候

【1月の特徴】

- ・記録的な大雨や暴風
- ・高温

(1) 概況

強い冬型の気圧配置は長続きせず、低気圧や前線が周期的に通過した。

特に、21日と27日は発達した低気圧が本州の太平洋岸に沿って北上したため、東北太平洋側を中心に記録的な大雨や暴風となり、大きな被害が発生した。

また寒気の持続的な南下はなく、高気圧に覆われ晴れたり、低気圧にむかって南から暖かい空気が流れ込んだため、気温の高い日が多かった。仙台では月平均気温が1月としては第3位の高温となった。

平均気温は高い。降水量はかなり多い。日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。

なお、東北日本海側の降雪量は平年比93%と平年並だった。

注) 気候統計値は、東北地方にある17地点の气象台、測候所、特別地域気象観測所の観測値より求めています。細分地域については3ページ目脚注を参照して下さい。

平年値の統計期間は1971-2000年です。階級区分については、2ページ目下段の脚注を参照して下さい。

(2) 天候経過

上旬： 気圧の谷が周期的に通過し、通過後は冬型の気圧配置となった。東北日本海側では曇りや雪の日が多かったが、旬の後半は高気圧に覆われ晴れる日もあった。東北太平洋側では晴れる日が多かった。5日には、発達した低気圧の通過により東南北部で暴風雪となり、フェンスや樹木の倒壊、送電線の切断による停電、交通障害が発生した。5日の最大瞬間風速は、仙台で33.3m/s、山形で23.7m/s(共に1月歴代1位)を観測した。

平均気温は平年並。降水量は東南北部で多く、東北南部でかなり多い。日照時間は平年並。

中旬： 冬型の気圧配置は長続きせず、低気圧が周期的に通過した。東北日本海側では曇りや雨または雪の日が多かったが、高気圧に覆われ晴れる日もあった。東北太平洋側では16日に雨や雪になったのは晴れまたは曇りで経過した。また、強い寒気の南下はなく、東南北部を中心に気温は高く経過した。

平均気温は東南北部で平年並、東北南部でかなり高い。降水量は東南北部で少なく、東北南部で多い。日照時間は東北日本海側で多く、東北太平洋側で少ない。

下旬： 21日と27日は発達した低気圧が本州の太平洋岸に沿って北上したため、東北太平洋側を中心に大荒れの天気となり、各地で記録的な大雨や暴風となった。日降水量は、21日に小名浜で88.0mm、27日に仙台で67.0mm(共に1月歴代1位)。日最大瞬間風速は、21日に石巻で34.1m/s、27日に大船渡で34.2m/s、石巻で35.2m/s、小名浜で28.8m/s(いずれも1月歴代1位。石巻は27日に21日の記録を再更新)。防波堤や養殖施設の損壊、窓ガラスの破損、交通障害などが発生した。

そのほかの日は冬型の気圧配置となり、東北日本海側では雪の日が多く、東北太平洋側では概ね晴れた。

平均気温はかなり高い。降水量はかなり多い。日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側でかなり少ない。

(3) 月統計値の極値・順位の更新

(月平均気温、月降水量、月間日照時間、月最深積雪の 3 位まで。ただし、白河の月降水量と新庄・むつ・白河の月最深積雪は、統計期間が短いため 1 位に該当した場合のみ示す。)

月平均気温高い方からの極値・順位更新

順位	地点名	平均気温 ()	これまでの最高() (年)	統計開始年	平年値()
3 位	仙台	3.2	3.6 (2000)	1927	1.5

月降水量多い方からの極値・順位更新

順位	地点名	降水量 (mm)	これまでの最多(mm) (年)	統計開始年	平年値(mm)
1 位	新庄	349.0	244.5 (1994)	1986	181.4
	仙台	147.5	115.0 (1972)	1927	33.1
	白河	102.0	95.0 (2001)	1995	30.6
	小名浜	163.5	139.5 (1993)	1911	46.2
2 位	大船渡	174.5	179.5 (1972)	1964	43.5
	若松	233.5	271.5 (1963)	1954	80.9
	石巻	128.0	188.5 (1972)	1888	33.1
3 位	宮古	190.5	216.2 (1903)	1884	52.6
	酒田	273.5	288.5 (1963)	1937	152.6

(4) 月気候表 (2002 年 1 月)

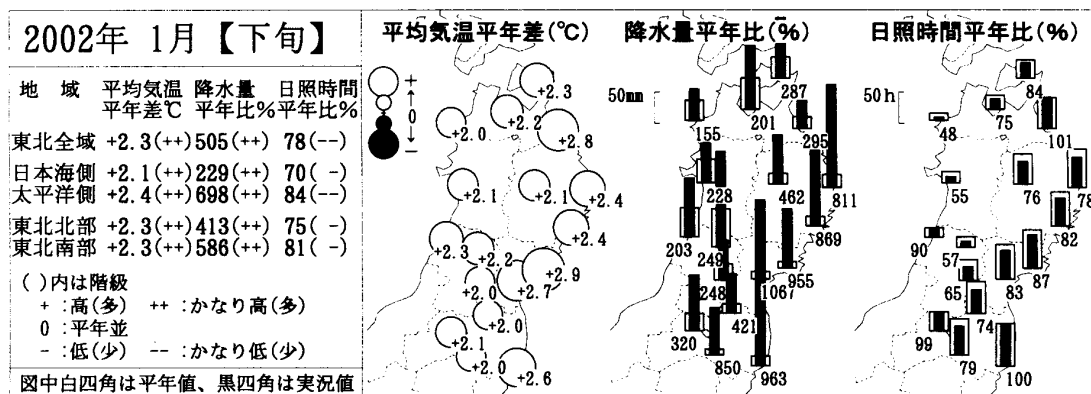
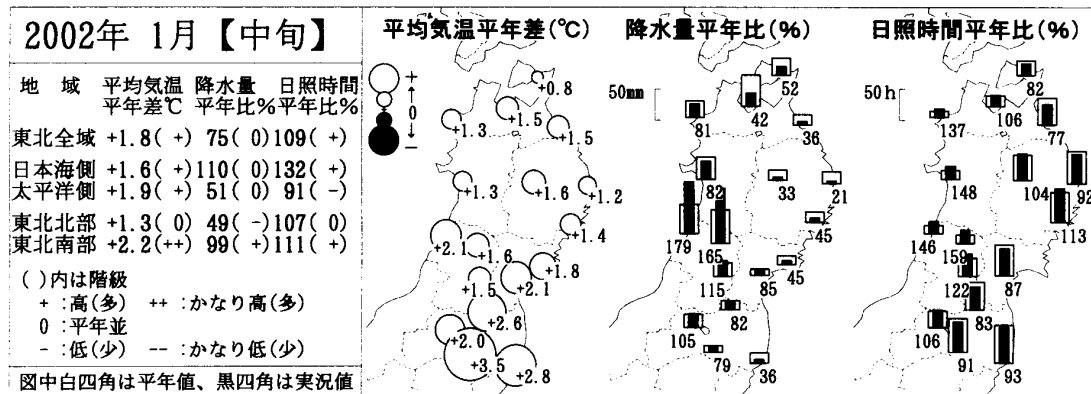
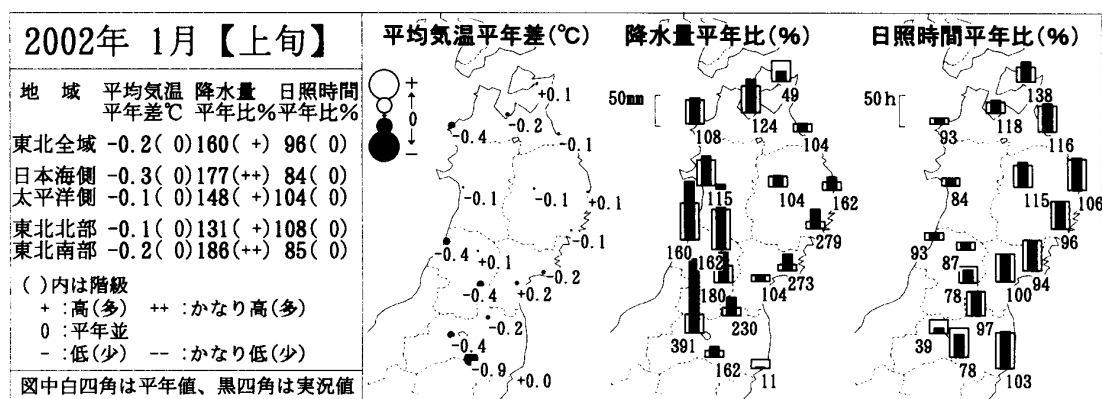
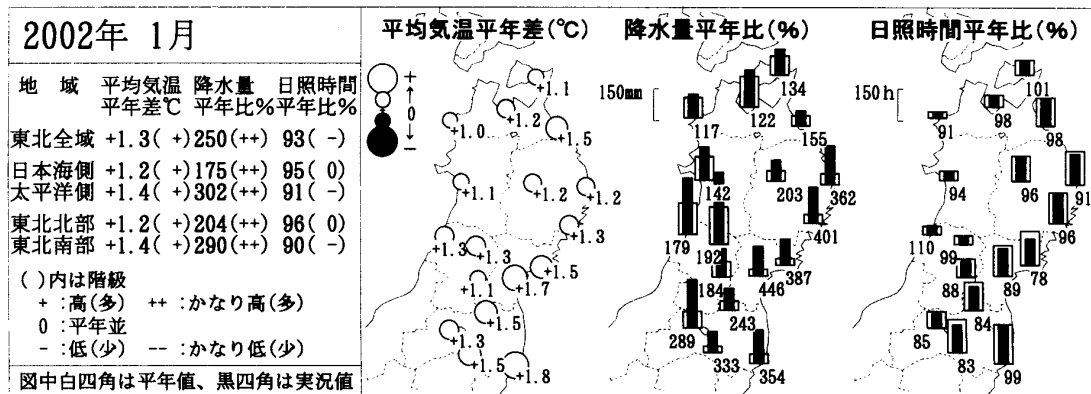
地 点	月平均気温(平年差)			月降水量(平年比)			月間日照時間(平年比)			月最深積雪	
	階級			mm	%	階級	h	%	階級	cm	階級
青 森	-0.2	(+1.2)	+	177.5	(122)	+	55.6	(98)	0	128	+
深 浦	0.6	(+1.0)	+	113.0	(117)	+	28.4	(91)	0	28	0
む つ	-0.5	(+1.1)	+	129.0	(134)	+	77.4	(101)	0	45	0
八 戸	0.3	(+1.5)	+	74.5	(155)	+	131.6	(98)	0	20	+
秋 田	1.0	(+1.1)	+	162.5	(142)	+	41.8	(94)	0	36	0
盛 岡	-0.9	(+1.2)	0	102.5	(203)	+	119.4	(96)	0	59	+
大船渡	2.0	(+1.3)	+	174.5	(401)	+	143.1	(96)	0	14	+
宮 古	1.4	(+1.2)	+	190.5	(362)	+	148.8	(91)		23	+
仙 台	3.2	(+1.7)	+	147.5	(446)	+	135.0	(89)		9	0
石 巻	2.0	(+1.5)	+	128.0	(387)	+	130.9	(78)	*	9	0
山 形	0.6	(+1.1)	+	139.0	(184)	+	78.9	(88)		47	+
新 庄	0.0	(+1.3)	+	349.0	(192)	+	42.8	(99)	0	104	+
酒 田	2.8	(+1.3)	+	273.5	(179)	+	43.8	(110)	0	12	
福 島	2.9	(+1.5)	+	106.5	(243)	+	114.3	(84)	*	22	+
若 松	0.6	(+1.3)	+	233.5	(289)	+	68.5	(85)		72	+
白 河	1.7	(+1.5)	+	102.0	(333)	+	133.3	(83)		10	0
小名浜	5.4	(+1.8)	+	163.5	(354)	+	187.0	(99)	0	0	

× : 欠測) : 欠測日を含む --- : 現象なし

階級は + : 高い(多い) 0 : 平年並 : 低い(少ない) * は「かなり」を表す

注) 階級は「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の 3 階級とし、それぞれの階級幅は、1971 ~ 2000 年の 30 年間に於いて出現した値を等確率 (33.3%) に区分しています。また、低い(少ない)方または高い(多い)方から出現率 10% の範囲を、それぞれ「かなり低い(少ない)」、「かなり高い(多い)」と表し、補足的に用います。本資料の本文にある階級の表現も、「かなり低い(少ない)」、「かなり高い(多い)」に該当する場合はそのように記述し、細分地域により階級表現が異なる場合は地域を細分して記述しています。

(5) 2002年1月の月・旬平均(合計)値の平年差(比)



注) 東北日本海側: 青森県津軽地方、秋田県、山形県、福島県会津地方
 東北太平洋側: 青森県下北・三八上北地方、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り地方
 東北北部: 青森県、秋田県、岩手県
 東北南部: 山形県、宮城県、福島県

(6) 2002 年 1 月の降雪の深さ月合計

+=====				
地 点 名		降雪の深さの合計	(平 年 値)	階 級
		(cm)	(cm)	
+=====				
青 森		259	(271)	0
深 浦		73	(75)	0
八 戸		51	(39)	+
+-----				
秋 田		99	(98)	0
+-----				
盛 岡		110	(60)	+ *
大 船 渡		20	(13)	+
宮 古		39	(21)	+
+-----				
山 形		96	(109)	0
酒 田		53	(80)	
+-----				
仙 台		10	(20)	
石 巻		22	(14)	+
+-----				
福 島		45	(44)	0
若 松		149	(139)	0
小 名 浜		0	(5)	
+=====				

注) 階級の符号は、(4) 月気候表 (2002 年 1 月) の脚注の通りです。
むつ、新庄、白河は降雪量の観測をしていません。